

猛暑日が続いているが農業に悪影響が出ていないか



清水 健一



映像はこちらから

A 関係機関からの情報では今の所、影響は少ない

が内容について聞きたい。

A 9月19日午後6時頃、寄居町用土地内でヤード火災が発生し、約2時間延焼し鎮火した。1名の方が心肺停止の状態で見送られたが詳細については現在調査中である。

Q 私の聞き取りでは、野菜の発育不良が見られ、品薄により高値となっているが把握しているのか伺う。
A 現時点では、そのような報告は聞いていないが、注視して行く。
Q 物価高騰、燃料高騰対策として追加支援が必要と考えるが対策について聞きたい。
A 市内関係団体と共に、農林水産省に対して要望活動を行った。
Q 農作物に関しては、価格転嫁が進んでいないが、国に対策をとるよう要望すべきと思うがいかがか。
A 機会を見て、要望していく。

Q 県内でも本年5月に大規模なヤード火災が発生し問題になっているが、昨日9月19日、深谷消防署内の寄居町でヤード火災が発生した

鉄板の扉で囲まれたヤードは安全なのか

Q 県内でも本年5月に大規模なヤード火災が発生し問題になっているが、昨日9月19日、深谷消防署内の寄居町でヤード火災が発生した



ヤード

A ヤードを規制する条例制定に関しては、県内の市町の状況や先進地事例等を調査研究していく。

Q このヤードもそうだが、ヤードの近隣住民が悪臭や騒音で日常生活に不安を訴えている。また、盗難車両を解体し、不正輸出を行っていたヤードもあるようだ。立ち入り調査ができるよう条例を作るべきと考えるがいかがか。
A ヤードを規制する条例制定に関しては、県内の市町の状況や先進地事例等を調査研究していく。

災害備蓄品について



柿澤 祐介



映像はこちらから

A 食料では6万食の備蓄である

A 岡部公民館にマンホールトイレを設置しているほか、現在、建設工事を実施している川本地区複合施設に整備予定であり、公共施設の再整備に併せて充実を図る。

Q 備蓄品について。
A 主な備蓄品目として、アルファ米や飲料水のほか乳児用の液体・粉ミルク、アレルギー対応ミルク、衛生用品として紙おむつ、生理用品などローリングストック方式により想定される避難者数の1.5日分を備蓄している。
Q 自主防災組織について。
A 毎年度新規設置があり、結成率は84%である。
Q 自主防災会の定期的な訓練、深谷市独自の訓練実施状況は。
A ハザードマップの活用講座や初期消火訓練、AED使用訓練などを随時行っている。独自の訓練として自治会の支会単位で情報伝達訓練や避難所として開設した公民館への避難訓練などを実施している。

Q 公共施設等における防災設備の設置状況は。
A 毎年度新規設置があり、結成率は84%である。
Q 自主防災会の定期的な訓練、深谷市独自の訓練実施状況は。
A ハザードマップの活用講座や初期消火訓練、AED使用訓練などを随時行っている。独自の訓練として自治会の支会単位で情報伝達訓練や避難所として開設した公民館への避難訓練などを実施している。



消防総務課提供

●火災について
Q 火災発生件数について。
A 9月19日現在で62件発生しており、昨年1年分を既に超え昨年同時期の26件と比較すると2倍以上となっている。今後、より一層の火災予防啓発による出火防止対策を行っていく。

中宿歴史公園の原始蓮の育成保護を今後も行うのか



福島 秀樹



映像はこちらから

A 育成保護・維持管理を行う

Q 原始蓮の育成保護にどのような取組を行ってきたのか。
A 昨年6月の降ひょう被害やザリガニの繁殖が目立つようになった以降、生育状況が悪くなったことから、昨年末に池の水を抜き、肥料を与え、池に入れる水の流入量を増やし、更にはザリガニの対策を実施した。しかしながら、今年6月の蓮の生育状況を見てもあまり効果が現れなかったため、古代蓮がある行田市に伺い、担当の方と話しをした。これにより、肥料の成分濃度が合わないことが要因ではないかとのアドバイスを受け、古代蓮と同じ成分濃度の肥料を7月中旬頃に与えた結果、生育状況の改善につながった。

125ha。令和4年度末現在の進捗状況は面積ベースで約75%であり、令和6年度の完成を目指している。
Q 整備区域を拡大する予定は。
A 現在、整備区域の拡大は考えていない。今後は国による下水道施策や社会情勢の動向などに注視していく。

Q 公共下水道への接続率は。
A 令和4年度末現在、接続人口は4,689人、接続率は86.2%となっている。

Q 公共下水道接続促進に向けた対応はどのように行っているか。
A 早期接続者に対する受益者負担金減免制度や水洗化促進改造資金融資あっせん制度を定め促している。



中宿歴史公園の原始蓮

学校図書館図書整備等5か年計画、本市の現状は



五間 くみ子



映像はこちらから

A 各学校と連携し、学校図書館整備を進める

Q 学校図書館図書標準達成状況は。
A 令和4年度末、小学校平均127.7%、中学校平均115.8%。
Q 計画的な図書更新の基準は。
A 深谷市学校図書館資料廃棄基準を定め、適宜更新に努めている。

Q 新刊の配備状況は。
A 小学校19校、中学校7校、購入のない中学校では、時事を取り扱う雑誌の購入をしている。

Q 学校司書の配置状況は。
A 会計年度任用職員を、全小中学校に配置。週3日、一日4時間勤務し、本の貸出・整理・保管・資料収集をしている。

●HPVワクチン、未接種者へ
Q 令和6年末には、キャッチアップ接種が終了し、対象者が無料で接種



●「ふかやが大好き」郷土愛を醸成
Q 基本計画において、郷土愛を醸成するため、市としての取組は。
A 郷土の偉人沢村栄一翁の精神を基軸とし、SDGsの理念を踏まえた各種施策の展開を図り、市民サービスを向上させることにより、結果として、深谷を好きになっていただけるよう取り組んでいる。
Q 栄一翁の名を冠した条例制定は。
A 市民が自然と郷土に親しむ取組は如何様なものか研究していく。

●岡部地区公共下水道について
Q 公共下水道の整備状況は。
A 公共下水道計画面積は、全体で